

第18回シヨパン国際ピアノ・コンクール(2021年)ファイナリスト

Eva Gevorgyan

Piano Recital

エヴァ・ゲヴォルギヤン
ピアノ・リサイタル

PROGRAM

シヨパン: Chopin:

幻想曲 ヘ短調 作品49

Fantasy in F Minor, Op.49

ワルツ第3番 イ短調 作品34-2

Waltz No.3 in A Minor, Op.34, No.2

ワルツ第7番 嬰ハ短調 作品64-2

Waltz No.7 in C-Sharp Minor, Op.64, No.2

練習曲集 作品10 より

第3番「別れの曲」ホ長調

第4番 嬰ハ短調

第5番「黒鍵」変ト長調

第6番 変ホ短調

第12番「革命」ハ短調

12 Etudes, Op.10, No.3, 4, 5, 6, 12

シューマン: 謝肉祭 作品9

Schumann: Carnival, Op.9

ラフマニノフ:

練習曲集「音の絵」作品39 より

第1曲 ハ短調

第2曲 イ短調

第3曲 嬰ハ短調

第6曲 イ短調

第9曲 ニ長調

Rachmaninoff:

Études-tableaux, Op.39, No.1, 2, 3, 6, 9

鮮やかに咲き誇る情熱の華。
エヴァの深化は止まらない。

東京 **7/31 木** 開演 19:00
(開場 18:30)

● 浜離宮朝日ホール

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞東京本社・新館2階

一般 ¥5,000 U30 ¥2,000

お問合せ 朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990

(日・祝除く10:00~18:00)

【主催】朝日新聞社/浜離宮朝日ホール

兵庫 **8/3 日** 開演 14:00
(開場 13:30)

● 神戸朝日ホール

〒650-0035 兵庫県神戸市中央区浪花町59

¥4,000

お問合せ 神戸朝日ホール 078-333-6540

(10:00~17:00)

※神戸朝日ホールにチケット販売窓口はございません。

【主催】朝日新聞社/神戸朝日ホール

一般発売 [2公演 共通] 4/19(土)10:00~

東京公演プレイガイド | ◆朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990(日・祝除く10:00~18:00) <https://www.asahi-hall.jp/hamarikyu/> ◆teket(電子チケット) <https://teket.jp/9987/46196>

神戸公演 | ◆神戸朝日ホール オンラインチケット <https://www.kobe-asahi-hall.jp/> ◆フェスティバルホール チケットセンター 06-6231-2221(10:00~18:00)
プレイガイド | ◆ローソンチケット <https://t-tike.com/> ◆CNプレイガイド <https://www.cnplayguide.com/> ◆セブンチケット <http://7ticket.jp/>

2公演共通プレイガイド | ◆イープラス <https://eplus.jp/> ◆チケットぴあ <https://t.pia.jp/>

※全席指定・税込 ※就学前のお子様はご入場いただけません ※都合により公演内容が変更となる場合がございます ※公演延期・中止の場合を除き、チケット代金の払戻しはおこないませんので予めご了承ください

※《東京公演のみ》託児サービスをご利用いただけます(要予約)【託児サービスのお問合せ・お申込み:イベント託児・マザーズ 0120-788-222】

※U30の取扱いは朝日ホール・チケットセンターのみ。公演当日に満30歳以下である方が対象。入場口にてチケットと共に生年月日のわかる身分証(顔写真付き)をご提示ください。

前途洋々たる天才が、 この夏、再び朝日ホールへ——

5年に一度、ポーランドのワルシャワで開催される若手ピアニストの登竜門、ショパン国際ピアノ・コンクール。ブルース・リウ、アレクサンダー・ガジェヴ、反田恭平らが入賞を果たした2021年の第18回大会において、当時17歳ながらも円熟味さえ感じさせる圧倒的な演奏で最年少ファイナリストとなった逸材こそ、エヴァ・ゲヴォルギャンである。現在はモスクワ音楽院に在籍しながら、スペインのソフィア王妃高等音楽院でスタニスラフ・ユデニッチのもと研鑽を積んでいる。

2023年に初来日が実現し、浜離宮朝日ホールでオール・ショパン・プログラムを披露。“音楽の詩人”の胸に迫る豊かな音楽を、細部までコントロールされた確かなテクニックと熱情にみちた音楽性で紡ぎ、聴衆を魅了した。2024年には再来日し、ショパンの「24の前奏曲」をはじめ、日本でのリサイタルのために新しいレパートリーに挑戦。作品の内奥を描き切るピアニズム、説得力のある演奏で神戸朝日ホールでは鮮烈な関西デビューを飾った。そこには、着実に輝きを増したエヴァ・ゲヴォルギャンの姿があった。

そして2025年夏、彼女が挑むのは、ロマン派を代表する3人の作曲家——ショパン、シューマン、ラフマニノフ——の傑作。新たに取り組む作品とこれまでのキャリアで大切に磨き上げてきた作品を織り交ぜた、こだわりのプログラムが揃った。

鮮やかに咲き誇る才能の華、その“現在地”をぜひお聴きいただきたい。

©JUNICHIRO MATSUO

エヴァ・ゲヴォルギャン [ピアノ] *Eva Gevorgyan, Piano*

「雄弁な感情表現と完璧なテクニック、達人の特質のすべてを併せ持っている」(ICMA国際クラシック音楽賞)、「エミール・ギレリスやベラ・ダヴィドヴィッチといったロシアの巨匠を思い出させる」(グラモフォン誌)、「稀有な才能の持ち主」(モーストリークラシック誌)、「細身なのに極めて強靱で、音色も美しく、素晴らしかった。これからは、おおいに期待する」(池田晋一郎氏)と評されるエヴァ・ゲヴォルギャンは2004年に生まれ、ピアノ王国ロシアの新世代で最も期待されているピアニストのひとり。2021年の第18回ショパンコンクールでは最年少ファイナリストの中で円熟さ感じられる重厚な表現と鋭い感性、鉄壁のテクニックで会場の聴衆と世界中のリスナーを虜にした。

モスクワ音楽院の名門中央音楽学校でナタリア・トゥルル教授に学ぶとともにロシアン・ピアニズムを代表する

巨匠たちに師事。エフゲニー・キーンシヤデニス・マツーフなどの支援を受け研鑽を積んできた。

数多くの受賞歴の一例をあげると、サンタ・チェチーリア国際ピアノコンクール第1位、ジュリアーノ・ベカール国際ピアノコンクールグランプリ、青少年のためのショパン国際ピアノコンクール(ポーランド)第1位、ヤング・ショパン国際ピアノコンクール(スイス)第1位、ロシア国立交響楽団によるコンクールグランプリなど50を超える。

「あとが大事」と言われるショパンコンクールにおいて現在のエヴァの演奏活動は際立っており、モスクワ音楽院、スペインのクイーン・ソフィア高等音楽院に在学しながらロシア、ドイツ、スペイン、フランス、アメリカなどで年間90回以上のコンサートに出演、2023年初来日公演の成功は記憶に新しく、コンチェルト、リサイタルはもちろん室内楽、歌曲ピアノパートにおいても傑出した音楽性

を発揮している。

2024年は小林研一郎指揮読売日本交響楽団とラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番、ユベール・スダーン指揮札幌交響楽団とチャイコフスキー:ピアノ協奏曲第1番を演奏するとともに全国主要都市でリサイタルを開催。協奏曲等においてヤマハ株式会社提供のヤマハCFXを使用。

2024年の再来日に合わせて初来日公演のライブCD「Chopin Rachmaninov」(2枚組)がアルトゥス、キングインターナショナルからリリースされ「驚愕の演奏!鉄壁のテクニックと豊かな詩情、大注目の逸材による凄まじい完成度のライブ」と評されている。

2025年はNHK交響楽団とチャイコフスキー:ピアノ協奏曲第1番を演奏するほか東京始め全国各地でリサイタルを開催する。

浜離宮朝日ホール

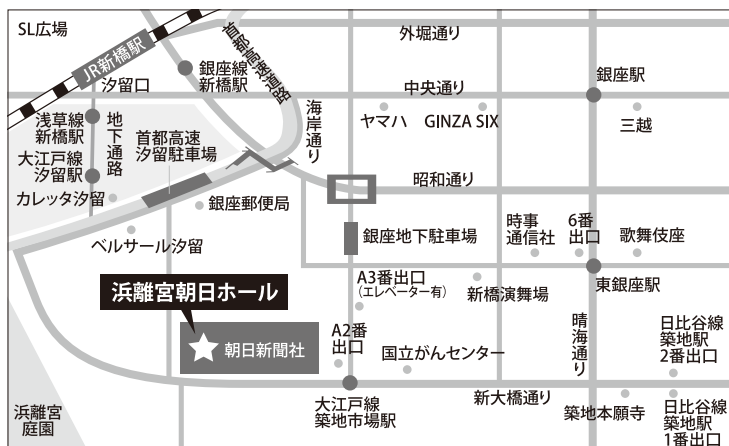
〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2 朝日新聞東京本社・新館2階

TEL.03-5541-8710

- アクセス
- 「築地市場駅」都営大江戸線(A2出口)すぐ
 - 「築地駅」東京メトロ日比谷線(1、2番出口)より徒歩約8分
 - 「東銀座駅」東京メトロ日比谷線/都営浅草線(6番出口)より徒歩約8分
 - 「汐留駅」都営大江戸線(新橋駅方面改札口)/新交通ゆりかもめ(改札口)より徒歩約10分
 - 「新橋駅」JR(汐留口)/東京メトロ銀座線(1、2番出口)/都営浅草線(改札口)より徒歩約15分



浜離宮朝日ホール 公式X
@Hamarikyuhall



神戸朝日ホール

〒650-0035 兵庫県神戸市中央区浪花町59

TEL.078-333-6540 [10:00~17:00]

- アクセス
- 「JR三宮駅」または「阪急・阪神・地下鉄・ポートライナーの各三宮駅」より徒歩約10分
 - 「JR元町駅」または「阪神元町駅」より徒歩約8分
 - 「地下鉄海岸線旧居留地・大丸前駅」または「三宮・花時計前駅」より徒歩約5分
 - 「JR新神戸駅」からタクシーで約7分
 - 神戸空港からタクシーで約20分 またはポートライナーで約18分「三宮」下車 徒歩約7分



神戸朝日ホール公式X
@kobeasahihall

